



市立幼稚園・保育所のあり方について（統廃合・民間移管）に関する請願書

〔請願の理由〕




1. 今年 2 月 13 日に発表され、担当部署から保護者・関連地域の集会所・集会所トークなど各地で説明されたが、市民意見を取り入れるという姿勢がなく、これで実施しますという説明会に終始した。この説明会で出された意見は、5 月 1 日付け「広報あしや」に芦屋市の回答として出されてきたが、殆ど取り入れていない。
事務局側で論議していた具体(案)があるにもかかわらず、その計画内容を並行して審議されていた学校教育審議会に提供もしない、また「こども子育て会議」にも、幼稚園と保育所の統廃合という大問題を提起もしないで進めたもので、従来の市民意見を聞く場を無視したものであり、納得のいかないものである。
2. また、今求められているのは、保育の待機児童対策が最優先であるのに、既存の平成 30 年 4 月までの開業は入れているものの、今年の待機児童として残った数を芦屋の南端地域の施設で解決するしかなく、保育要求の多い精道地域は早くて平成 32 年、山手地域には何の方策もない。
3. 1 度しかない乳幼児期の芦屋のこども達を、どのように就学前教育・保育から次に育つ場である小学校に繋げていくかについて、芦屋市の街づくりを担う、市民・議員・行政、そして教育専門家をまじえた多彩なメンバーで議論し、「誇れる芦屋の教育環境・街づくり」として市民みんなで作っていくのが、芦屋市の方針ではなかったのではないのでしょうか。

〔請願項目〕

1. この計画は拙速すぎます。市民合意形成のため立ち止まり、芦屋の子育てしやすい街づくりを推進してください。 **6 月 9 日付けで「保育所」に訂正されています。**
2. 芦屋市立幼稚園・**保育園**のあり方について、地域によって事情が異なる小学校区毎に市民の知恵の集約と合意をはかるように、もう一度討議を住民を交えて進めてください。

平成 29 年 6 月 5 日

芦屋市議会議長 畑中 俊彦様

請願者 芦屋市精道町 
 団体名 芦屋市自治会連合会 
 代表者 田中 隆 

紹介議員

いしゆ まい
 前田 長一
 森 しずか
 ひらせ 久美子